



ひとつと不動産の明日を、共感で結ぶ

経営理念

賃貸オーナーとともに歩み

賃貸経営を支えるパートナーでありたい

株式会社スペースRデザインは2008年、賃貸業を行う吉原住宅有限会社から分社・独立。専門的な調査と枠にとられないユニークな発想を掛け合わせた、独自の企画力が最大の強みです。創業時より、主に古い建物を所有する賃貸オーナーからさまざまなご相談を受け、課題の解決に努めてきました。そして、近年は新築の計画段階からのご相談や、相続した実家の活かし方など、ご依頼の内容も多様化しています。

私たちの役割は、まずはオーナーの悩み・想いに耳を傾けること。そして、課題を整理し、目標を定めた上で、オーナーのパートナーとして、ともにひとつひとつの課題をクリアし、活気あふれる不動産を育むことです。

不動産の価値を決めるのは、価格や賃料といった経済価値ですが、それを生み出す根幹には、ひとの存在があります。そして、ひとつと不動産を結びつけるのは、その場所で暮らすこと、オフィス・店舗等として使うことに対する、明日への期待です。私たちは、オーナーからご相談いただいた不動産に、入居者の期待につながる“共感”という本質的な価値を付加し、長く愛される不動産をともに創出していきます。

オーナーが所有する不動産に誇りを持ち、より豊かな明日に歩いていけるように。その不動産を利用する入居者がしあわせであるように。私たちは常に技術を磨き企画の精度を高め、長く愛される価値ある不動産経営を支えていきたいと思えます。

代表あいさつ

私たちが、2000年から経年物件再生で蓄積した技術力と発想力を用いれば、建物を壊さずとも古さを魅力に、健全な賃貸・ビル経営を確立することができるようになりました。それが環境のため、まちの魅力向上のために派生していく経験を繰り返しています。

そのためには、経年劣化から経年優価へ、短期的経営から持続的経営へ。消費される建物から育む建物へ。それにより、社会的価値と経済的価値を両立できる経営をお手伝いさせていただきます。

そんな、次世代の不動産事業に挑戦しながら、賃貸・ビル事業を通して、入居者・オーナーと、次世代のための不動産事業を作り上げ、これからの社会に広めて参りたいと思えます。

株式会社スペースRデザイン
代表取締役 吉原勝己